

* 層採用欄の空欄は防除層に記載のない薬剤

なし登録農薬適用表 (殺虫・殺菌)

(R6年11月現在)

用途	薬剤名	層採用	剤型	使用方法	JA採用倍率	倍率		使用時期	使用回数	対象病害虫	成分名
						7倍	7～10倍				
殺菌	石灰硫黄合剤	○	液剤	散布	7倍	7倍	7～10倍	芽生前 剪定整枝時及び病害部削り取り直後 剪定整枝時、病害部削り取り直後 及び病枝切除後	3回	黒星病 越冬病害虫・カイガラムシ類・ハダニ類・縮葉病 紅粒がんしゅ病・胴枯病・腐らん病・黒斑病・輪紋病 切り口及び傷口のゆ合促進	多硫化カルシウム
						4-8式	4-12式				
殺虫	トッジンMペースト	○	ペースト	塗布	7倍	4-8式	4-12式	剪定後～開花前	3回	(黒斑病・黒星病・開花後) 輪紋病 (果斑病・黒星病・開花後)	窒素性硫酸銅
						6-12式	30倍				
劇	硫酸銅	○	水和剤	散布	4-8式	4-12式	6-12式	剪定後～開花前	4回	疫病・心腐れ症(胴枯病菌)・輪紋病・炭疽病・ 黒星病・赤星病・黒斑病・黒斑細菌病・褐色斑点病	ジチアソフ
						30倍	30倍				
劇	ICホルドー48Q	○	水和剤	散布	30倍	4-8式	4-12式	剪定後～開花前	4回	(黒斑病・黒星病・開花後) 輪紋病 (果斑病・黒星病・開花後)	塩基性硫酸銅
						6-12式	30倍				
劇	テラソフロアブル	○	フロアブル	散布	1,000倍	1,000倍	1,000倍	収穫5日前まで	4回	疫病・心腐れ症(胴枯病菌)・輪紋病・炭疽病・ 黒星病・赤星病・黒斑病・黒斑細菌病・褐色斑点病	ジチアソフ
						500～1,000倍	500～1,000倍				
劇	ヘルクガード水和剤	○	水和剤	散布	1,000倍	500～1,000倍	500倍	収穫5日前まで	4回	赤星病・黒星病・黒斑病・心腐れ症(胴枯病菌)・ 炭疽病・褐色斑点病	イミダクダジアルベリル懸濁チオラム
						500倍	500倍				
劇	トシツクスフロアブル	○	フロアブル	散布	500倍	500倍	500倍	収穫5日前まで	5回	黒斑病・(黒星病2,000倍)	チオラム
						2,000倍	2,000倍				
劇	ユニツクス顆粒水和剤47	○	顆粒水和剤	散布	2,000倍	1,000～2,000倍	1,000～2,000倍	収穫1日前まで	3回	疫病・(黒斑病・輪紋病800倍)	シフロジニル
						800倍	800～1,000倍				
劇	アリエツチイ水和剤	○	水和剤	散布	800倍	800～1,000倍	800～1,000倍	収穫14日前まで	3回	輪紋病・黒星病・うどんこ病・ (黒斑病1,500～2,000倍)	ホセチル
						1,500倍	1,500倍				
劇	ホリペリン水和剤	○	水和剤	散布	1,500倍	1,500倍	1,500倍	収穫14日前まで	3回	黒斑病・輪紋病 黒星病・赤星病	イミノクダジン酢酸塩・ ホリオキシソ
						2,000倍	2,000倍				
劇	スコア顆粒水和剤	○	顆粒水和剤	散布	2,000倍	2,000倍	2,000倍	収穫14日前まで	3回	黒斑病・輪紋病 黒星病・赤星病	シフロニコチゾール
						4,000倍	2,000～4,000倍				
劇	ヘルコート水和剤	○	水和剤	散布	1,000～1,500倍	1,000～1,500倍	1,000～1,500倍	収穫14日前まで	5回	うどんこ病・黒星病・輪紋病・黒斑病	イミノクダジンアルベリル懸濁
						1,500倍	1,500倍				
劇	ロフトー水和剤	○	水和剤	散布	800倍	600～800倍	600～800倍	収穫14日前まで	5回	黒星病・黒斑病	イフロジソフ
						1,000倍	1,000～1,500倍				
劇	ロラール水和剤	○	水和剤	散布	1,000倍	1,000～1,500倍	1,000～1,500倍	収穫14日前まで	3回	うどんこ病・黒星病・赤星病(輪紋病1,000倍)	ヘキサコチゾール
						2,000倍	2,000倍				
劇	アンビルフロアブル	○	フロアブル	散布	2,000倍	1,000～2,000倍	1,000～2,000倍	収穫7日前まで	3回	黒星病(輪紋病5,000倍)・ うどんこ病(5,000～10,000倍) 赤星病	フェンコチゾール
						5,000～12,000倍	8,000～12,000倍				
殺菌剤	インダーフロアブル	○	フロアブル	散布	5,000～12,000倍	8,000～12,000倍	8,000～12,000倍	収穫7日前まで	3回	うどんこ病・黒斑病・褐色斑点病	ホリオキシソ
						8,000～12,000倍	8,000～12,000倍				
劇	ホリオキシソ水和剤	○	水和剤	散布	1,000倍	1,000倍	1,000倍	収穫7日前まで	5回	黒斑病・輪紋病・黒星病・褐色斑点病	有機銅
						1,000倍	1,000倍				
劇	キノンドーフロアブル	○	フロアブル	散布	1,000倍	1,000倍	1,000倍	収穫3日前まで	9回	胴枯病・輪紋病・黒星病・褐色斑点病	有機銅
						20倍	20倍				
劇	ペンレート水和剤	○	水和剤	散布	2,000～3,000倍	2,000～3,000倍	2,000～3,000倍	3～6月 シソ油乳剤で希釈	2回	胴枯病・心腐病(胴枯病菌)・輪紋病・ うどんこ病・黒星病	ヘンミル
						2,000倍	2,000～3,000倍				
劇	オーシヤンイン水和剤	○	水和剤	散布	2,000倍	2,000倍	2,000倍	収穫前日まで	5回	黒斑病 黒星病・赤星病・(うどんこ病3,000倍)	オキスホコチゾールフマル酸塩
						3,000～4,000倍	3,000～4,000倍				
劇	ストロピートライフロアブル	○	フロアブル	散布	3,000倍	2,000～3,000倍	2,000～3,000倍	収穫前日まで	3回	(炭疽病2,000倍)・(黒星病5,000倍)	クレシキムタチル
						3,000倍	3,000倍				
劇	トッジンM水和剤	○	水和剤	散布	7倍	7倍	7～10倍	植付前 10分間根幹部浸漬 休眠期	1回	白紋羽病	チオチアゾール
						4-8式	4-12式				
劇	オンリーオンフロアブル	○	フロアブル	散布	2,000～4,000倍	2,000～4,000倍	2,000～4,000倍	収穫前日まで	6回	腐らん病 うどんこ病・黒星病(胴枯病・輪紋病・ 心腐れ病(胴枯病菌1,000～1,500倍)) (輪紋病・黒斑病・うどんこ病2,000倍) 黒星病・赤星病	チオチアゾール
						2,000倍	2,000～4,000倍				
劇	チリアWDG	○	水和剤	散布	2,000倍	2,000倍	2,000倍	収穫前日まで	3回	うどんこ病・黒星病・輪紋病・炭疽病	ピラクロストロペン・ボスカリト
						1,500～3,000倍	1,500～3,000倍				
劇	フルーツセイバー	○	フロアブル	散布	4,000倍	4,000倍	4,000倍	収穫前日まで	3回	黒星病・赤星病 黒星病・黒斑病	ペンチオピラト
						4,000～8,000倍	4,000～8,000倍				
劇	カチマフロアブル	○	フロアブル	散布	4,000倍	4,000倍	4,000倍	収穫前日まで	3回	黒星病・赤星病 黒斑病・輪紋病・胴枯病	インビルキサルム
						4,000倍	4,000倍				
劇	スクレリアフロアブル	○	フロアブル	散布	3,000倍	2,000～3,000倍	2,000～3,000倍	収穫前日まで	3回	うどんこ病・黒星病・心腐れ症(胴枯病菌)・ 胴枯病(3,000倍)・輪紋病	マンチストロペン
						3,000倍	3,000倍				
劇	ペランチヤーフロアブル	○	フロアブル	散布	8,000倍	8,000倍	8,000倍	収穫14日前まで	3回	うどんこ病・赤星病・黒星病・黒斑病	マンフェントリコチゾール
						8,000倍	8,000倍				

※適用表に記載されている剤型は、商品上の剤型です。
 ※チオチアゾールメチル(トッジンM水和剤)を含む剤を使用した場合には、ペニシル(ペンレート水和剤)を含む剤を使用しないこと。また、ペニシル(ペンレート水和剤)を含む剤を使用した場合には、チオチアゾールメチル(トッジンM水和剤)を含む剤を使用しないこと。ただし、塗布処理は除く。

* 歴採用欄の空欄は防除歴に記載のない薬剤

なし登録農薬適用表 (殺虫・殺菌)

(R6年11月現在)

用途	薬剤名	歴採用	剤型	使用方法	JJA採用倍率	倍率	使用時期	使用回数	対象害虫	成分名
劇	スプレーオイル	○	乳剤	散布	30倍	30~200倍	発芽前		ハダニ類・ハダニ類の越冬卵・ニヤシシバヒダニ(イカリガラムシ類30~50倍)	マシ油
					1,000倍					
劇	ミクロテナボン水和剤85		水和剤	散布		1,200倍	収穫60日前まで (日本なし)	3回	シシトビハチ ツシクイムシ類・ナシムシハチ ツシクイムシ類・アブラムシ類・ (イカリコナカイガラムシ1,000~1,500倍)	NAC
					1,000~2,000倍					
劇	サイアゲソックス水和剤	○	水和剤	散布		1,000倍(無袋)	収穫45日前まで	3回	ツシクイムシ類・アブラムシ類・ハダニムシ類・ ツシクイカイガラムシ	GVAP
					※2025年10月登録未決	1,000倍(有袋)	収穫7日前まで			
劇	アフロート水和剤		水和剤	散布		800~1,000倍(無袋)	収穫30日前まで	2回	カイガラムシ類知虫	アフロアゼン
					800~1,200倍(無袋)	800~1,200倍(有袋)	収穫21日前まで			
劇	スミチオン水和剤40		水和剤	散布		800~1,000倍(有袋)	収穫14日前まで	6回	アブラムシ類・シシクイムシ類・クロコナカイガラムシ・ ハダニムシ類	MEP
					800~1,000倍(有袋)	800~1,200倍(有袋)	収穫14日前まで			
劇	カスタード乳剤		乳剤	散布		2,000倍	収穫14日前まで	2回	ハダニムシ類・ハダニ類	フルアエリクスロン
					1,000倍					
劇	ダイアジノン水和剤S4	○	水和剤	散布	1,000倍	1,000~1,500倍	収穫14日前まで (日本なし)	6回	ツシクイムシ類・アブラムシ類・ハダニムシ類・ ツシクイムシ類・コナカイガラムシ類若齢知虫	ダイアジノン
					1,000~1,500倍					
劇	クララDF		トリアゾプロ	散布		2,000~4,000倍	収穫14日前まで	2回	アブラムシ類 (チャノキイロアザミウサ2,000倍)	フロニカミド
					2,000倍		収穫7日前まで	2回	ハダニムシ類・シシクイムシ類・アブラムシ類	シラルトリン
劇	オリアン水和剤40	○	水和剤	散布	1,000倍	1,000倍	収穫3日前まで	2回	アブラムシ類・シシクイムシ類・テムシ類・ ハダニムシ類・カイガラムシ類	アラニカルブ
					2,500~5,000倍		収穫前日まで	3回	シシクイムシ類・ヒメボクトウ・テムシ類・ アブラムシ類・カメムシ類・テムシ類・ツシクイムシ類・ アブラムシ類・カメムシ類・チュウコウチシキシラミ	クロラントラニリアロール
劇	スターカル顆粒水溶液	○	顆粒水溶液	散布	2,000倍	2,000倍	収穫前日まで	3回	アブラムシ類・カメムシ類・テムシ類・ツシクイムシ類・ アブラムシ類・カメムシ類・チュウコウチシキシラミ(2,000倍)	クロチアネジシ
					2,000倍	2,000~4,000倍	収穫前日まで	3回	アブラムシ類・カメムシ類・シシクイムシ類・カキノヒメヨコ ハダニ・カイガラムシ類(チャノキガ4,000倍)	アセタミトリド
劇	ダントツ水溶液	○	水溶液	散布	2,000倍	2,000~4,000倍	収穫前日まで	2回	シシクイムシ類・ハダニムシ類・ チュウコウチシキシラミ・アザミウサ	ヌビネトラム
					2,000倍	2,000倍	収穫前日まで	2回	シシクイムシ類・ハダニムシ類・カメムシ類・ハダニ類 ツシクイムシ類	シクラニリアロール
劇	モスビラン顆粒水溶液	○	顆粒水溶液	散布	2,000倍	5,000~10,000倍	収穫前日まで	5回	ヒメボクトウ・カミキリムシ類・ヌカシノ類	フェンプロホリン
					2,000倍	2,000~4,000倍	収穫前日まで	3回	カイガラムシ類	シラントラニリアロール
劇	テアアナWDG	○	顆粒水和剤	散布	2,000倍	2,000倍	収穫前日まで	2回	アブラムシ類	アセキノソル
					2,000倍	2,000~4,000倍	収穫前日まで	1回	ハダニ類・(ニセナシバヒダニ1,000倍)	アセキノソル
劇	トップバシ液剤	○	液剤	散布	2,000倍	1,000~1,500倍	収穫前日まで	1回	ハダニ類・(ニセナシバヒダニ1,000倍)	ミルベシタシ
					4,000倍	1,000~1,500倍	収穫前日まで	1回	ハダニ類	ヒロエチセート
劇	トランスアムプロアザル	○	フロアザル	散布	4,000倍	1,000~2,000倍	収穫前日まで	3回	ハダニ類・ニセナシバヒダニ	スヒロロシエン
					5,000倍	2,000倍	収穫前日まで	1回	ハダニ類	ピルラミド
劇	ロビソソット		エゾノール	樹幹・樹皮の食入孔にスズルを差し込み散布		2,500~5,000倍	収穫前日まで	3回	ハダニムシ類・シシクイムシ類・テムシ類・ヒメボクトウ	シラントラニリアロール
					1,000~2,000倍	1,000~1,500倍	収穫14日前まで	1回	ハダニ類・(ニセナシバヒダニ1,000倍)	アセキノソル
劇	ピラニカ水和剤	○	水和剤	散布	5,000倍	1,000~2,000倍	収穫14日前まで	1回	ハダニ類・(ニセナシバヒダニ1,000倍)	アセキノソル
					1,500倍	1,000~1,500倍	収穫前日まで	1回	ハダニ類・(ニセナシバヒダニ1,000倍)	ミルベシタシ
殺菌剤	コロンブート乳剤	○	乳剤	散布	1,500倍	1,000~1,500倍	収穫前日まで	1回	ハダニ類・(ニセナシバヒダニ1,000倍)	ヒロエチセート
					2,000倍	1,000~1,500倍	収穫前日まで	1回	ハダニ類	スヒロロシエン
殺菌剤	タニグスターフロアザル	○	フロアザル	散布	2,000倍	2,000倍	収穫前日まで	1回	ハダニ類・ニセナシバヒダニ	スヒロロシエン
					2,000倍	50~200本/10a	収穫前日まで	1回	ハダニ類	ピルラミド
殺菌剤	コンフューザーN	○	52g/200本	ナメクジ・ナメクジのほかに殺菌剤を散布する	200本/10a	150~200本/10a	成虫発生初期~終期 (果樹類)		ナメクジシシクイ	オリアルブ・トートリルブ・ピー チアルブ
					2,000倍	ナメクジ1,500~2,000倍 赤ナメクジ2,000~3,000倍	収穫予定日の14~7日前	1回	ナメクジシシクイ	シクローブロッブ

※適用表に記載されている剤型は、商品上の剤型です。

* 層採用欄の空欄は防除層に記載のない薬剤

りんご登録農薬適用表 (殺虫・殺菌・その他)

(R6年11月現在)

用途	薬剤名	層採用	剤型	使用方法	JA採用倍率	倍率	使用時期	使用回数	対象病害虫	成分名
殺菌 殺虫剤	石灰硫黄合剤	○	液剤	散布	7倍 7～10倍 40～140倍 100～120倍	7倍 7～10倍 40～140倍 100～120倍	発芽前	2回	黒星病 ハダニ病・越冬害虫・カイガラムシ類・(腐らん病10倍・休眠期) モニリフ病・うどんこ病	多核化カルシウム
				立木全面散布			満開後			
劇	硫磺銅	○	水和剤	散布	4-12式	4-12式 4-8式・2-10式			斑点落葉病 褐斑病・黒点病	硫磺銅
				散布	30倍 (4-12式) 30～50倍	20～40倍 30～50倍		輪紋病・(斑点落葉病20～50倍)・(モニリフ病20倍) 褐斑病・炭疽病・黒星病 黒星病・炭疽病・斑点落葉病・モニリフ病・すす点病・すす斑病	銅	
				散布	2,000倍	1,000～2,000倍	収穫60日前まで	3回	輪紋病・炭疽病・黒点病	ジチアノン
				散布	1,000倍	500倍	収穫45日前まで	1回	白紋羽病・紫紋羽病	フルトラジウム
				散布	1,000倍	2,000～2,500倍	収穫45日前まで	1回	斑点落葉病・黒星病・すす点病・すす斑病・褐斑病・輪紋病 (モニリフ病2,000倍)	フロピネブ
				散布	500倍	500倍	収穫45日前まで	4回	黒星病・黒点病・すす斑病・すす点病・褐斑病・輪紋病・ 炭疽病・斑点落葉病・赤星病	ワンセブ
				散布	500～600倍	500～600倍	収穫30日前まで	3回	すす斑病・すす点病・モニリフ病・黒点病・黒星病・赤星病・ 斑点落葉病・(輪紋病500倍)・(炭疽病・褐斑病600倍)	チオラム
				散布	500倍	500倍	収穫30日前まで	5回	黒星病・黒点病・すす斑病・すす点病・褐斑病・輪紋病・ 炭疽病・斑点落葉病・赤星病	チオコナゾール
				散布	2,000倍	2,000倍	収穫7日前まで	3回	黒星病・輪紋病・うどんこ病・赤星病・黒点病・灰色カビ病・ 斑点落葉病	フエンコナゾール
				散布	5,000～12,000倍 8,000～12,000倍 10,000倍	5,000～12,000倍 8,000～12,000倍 10,000倍	収穫14日前まで	3回	赤星病	
				散布	500～600倍 500～800倍	500～600倍 500～800倍	収穫14日前まで	4回	褐斑病・黒点病・すす点病・すす斑病・炭疽病	キャブタン・有機銅
				散布	1,000倍	800～1,000倍	収穫14日前まで	4回	褐斑病・黒星病・すす点病・すす斑病・輪紋病・斑点落葉病・輪紋病 赤星病 (3,000～4,000倍)・うどんこ病・黒星病 (3,000～4,000倍) 黒点病・斑点落葉病 (モニリフ病・褐斑病2,000～3,000倍)	ソフエノコナゾール
散布	3,000倍	3,000倍	収穫14日前まで	3回	斑点落葉病 (1,000倍)・(炭疽病・黒星病2,000倍)・うどんこ病・ モニリフ病 (1,000倍)	ソフロシニル				
散布	2,000倍	1,000～2,000倍	収穫7日前まで	4回	(輪紋病・斑点落葉病・モニリフ病1,000倍)・黒星病・ 赤星病・うどんこ病	ヘキサコナゾール				
散布	1,000倍	1,000～2,000倍	収穫7日前まで	3回	うどんこ病・褐斑病・斑点落葉病・赤星病	ソフルエチミド				
散布	4,000倍	4,000倍	収穫3日前まで	2回	うどんこ病	ホリオキシン複合体				
散布	1,000倍	1,000倍	開花直前 10～30分間根幹部浸漬	3回	うどんこ病・褐斑病・斑点落葉病・赤星病					
散布	1,000倍 (苗木)	1,000倍 (苗木)	開花前日まで	4回	白紋羽病	ペンシル				
散布	2,000～3,000倍	2,000～3,000倍	開花前日まで	4回	黒星病・黒点病・輪紋病・うどんこ病・腐らん病・すす点病・ すす斑病・(2,000倍)					
散布	1,500倍	1,500倍	開花前日まで	3回	輪紋病・黒星病・黒点病・炭疽病・モニリフ病 (斑点落葉病 病・すす点病・すす斑病1,500～2,000倍)	フルオルイミド				
散布	1,500倍	1,500倍	開花前日まで	2回	黒星病・モニリフ病					
散布	600～800倍 600～1,000倍 800～1,200倍	600～800倍 600～1,000倍 800～1,200倍	収穫前日まで	6回	すす点病・すす斑病・斑点落葉病・輪紋病 (炭疽病800倍) 黒星病	キャブタン				
散布	1,000倍	1,000～1,500倍	収穫前日まで	6回	黒星病・すす点病・すす斑病・斑点落葉病・輪紋病・褐斑 病 (黒点病1,000倍)	イミノクダジナルペシル酸塩				
散布	根幹部浸漬	根幹部浸漬	苗木植付前	6回	紫紋羽病					
散布	250倍	250倍	苗木植付前	6回	うどんこ病					
散布	1,500倍	1,500倍	休眠期	6回	モニリフ病・腐らん病・黒星病・うどんこ病	イミノクダジナル酢酸塩				
散布	1,000倍	1,000倍	休眠期	6回	褐斑病・すす点病・すす斑病・斑点落葉病・輪紋病 (黒 星病1,500倍)					
散布	1,500～2,000倍	1,500～2,000倍	収穫前日まで	3回	赤星病・斑点落葉病	クレンキシムズチル				
散布	1,500～3,000倍 2,000～3,000倍 3,000倍	1,500～3,000倍 2,000～3,000倍 3,000倍	収穫前日まで	3回	うどんこ病・黒星病・黒点病・モニリフ病					
散布	500倍 (苗木)	500倍 (苗木)	植付前 10分間根幹部浸漬	1回	白紋羽病	チオフナートメチル				
散布	500～1,000倍 1,000～1,500倍 1,000～2,000倍	500～1,000倍 1,000～1,500倍 1,000～2,000倍	休眠期～生育期	6回	腐らん病・モニリフ病 (炭疽病)・すす点病・すす斑病・輪紋病 うどんこ病・褐斑病・黒星病・黒点病					
散布	1,500倍	1,500倍	収穫前日まで	6回	うどんこ病・黒星病・黒点病・すす点病・すす斑病・炭疽病 うどんこ病・黒星病・黒点病	ピラクロストロビン・ボスカリド				
散布	2,000倍	2,000倍	収穫前日まで	3回	うどんこ病・黒星病・黒点病					
散布	2,000～3,000倍	2,000～3,000倍	収穫前日まで	4回	うどんこ病・黒星病・黒点病・すす点病・すす斑病・炭疽病 赤星病	トリフロキシストロビン				
散布	2,000倍	2,000倍	収穫前日まで	3回	赤星病・うどんこ病・黒星病・モニリフ病・すす点病・すす斑病・ (斑点落葉病・黒点病・輪紋病・炭疽病1,500～2,000倍)	ペンチオピラト				
散布	3,000倍	3,000倍	収穫前日まで	2回	黒星病・斑点落葉病・輪紋病・すす点病・うどんこ病・褐斑病・炭 疽病・黒点病・モニリフ病・すす斑病・(赤星病2,000倍)	ピラジフルミド				
散布	1,000倍	800～1,000倍	収穫前日まで	6回	斑点落葉病・炭疽病・輪紋病・黒点病・輪紋病・すす点 病・すす斑病 (黒星病1,000倍)	イミノクダジナルペシル酸塩・ キャブタン				

※適用表に記載されている剤型は、商品上の剤型です。

* 歴採用欄の空欄は防除層に記載のない薬剤

りんご登録農薬適用表 (殺虫・その他)

(R6年11月現在)

用途	薬剤名	歴採用	剤型	使用方法	JA採用倍率	倍率		使用時期	使用回数	対象害虫	成分名
						25～50倍	50倍				
殺虫剤	スプレーオイル	○	乳剤	散布	50倍	25～50倍	50倍	発芽前 芽直前直後 手出直前直後	2回	カイガラムシ類・ハダニ類・ハダニ類の越冬期	マシソ油
	サイアノリンクス水和剤		水和剤	散布	※2025年10月 登録未効	1,000倍	1,000倍	収穫14日前まで	1回	アブラムシ類・キンモンホリガ・ハマキムシ類・クワコバカイガメムシ類・シロカゲムシ類・オオカゲムシ類・カメムシ類・リンゴコタムシ類・ハマキムシ類(キリンノミ)・カメムシ類(800～1,000倍)	CYAP (有機リン剤)
	スミチオン水和剤40		水和剤	散布	800～1,200倍	1,000倍	1,000倍	収穫30日前まで	3回	キンモンホリガ・アブラムシ類・キンモンホリガ・コナカイガラムシ類・アブラムシ類・キンモンハモグリガ・カメムシ類	MEP (有機リン剤)
	タテアジリン水和剤34	○	水和剤	散布	1,000～1,500倍	1,000～1,500倍		収穫30日前まで	4回	キンモンホリガ・アブラムシ類・キンモンハモグリガ・カメムシ類・シロカゲムシ類・クワコバカイガメムシ類(着樹期)	タテアジリン (有機リン剤)
	ウララDF		トワイプロザル	散布	2,000倍	2,000～4,000倍		収穫14日前まで	2回	(リンゴタムシ(2,000倍))・アブラムシ類	フロニカミド
	ハイアスロトEW	○	フロプロザル	散布	2,000倍	2,000～3,000倍	2,000倍	収穫7日前まで	4回	キンモンホリガ・アブラムシ類・キンモンハモグリガ・キンモンハモグリガ・アブラムシ類	シフルトリン
	サムコルフロプロザル10	○	フロプロザル	散布	5,000倍	2,500～5,000倍		収穫前日まで	3回	シロカゲムシ類・ハマキムシ類・キンモンホリガ・キンモンハモグリガ・アブラムシ類・キンモンハモグリガ・カメムシ類	クロラントラニプロール
	オリオン水和剤40		水和剤	散布	1,000倍	1,000倍		収穫前日まで	2回	オオカゲムシ類・(ハダニ類1,000～1,500倍)・シロカゲムシ類・キンモンホリガ・ハマキムシ類・アブラムシ類・カメムシ類	テラニカルブ
	ダントツ水溶剤	○	水溶剤	散布	2,000倍	2,000～4,000倍		収穫前日まで	3回	キンモンホリガ・アブラムシ類・アブラムシ類・キンモンハモグリガ・カメムシ類	クロチアニジン
	スタークル顆粒水和剤		顆粒水和剤	散布	2,000倍	2,000倍		収穫前日まで	3回	シロカゲムシ類・アブラムシ類・キンモンハモグリガ・カメムシ類	シノテラン
ノーマルト乳剤		乳剤	散布	2,000～6,000倍	2,000～6,000倍		収穫前日まで	2回	シロカゲムシ類・キンモンホリガ・キンモンハモグリガ・カメムシ類(シノカゲムシ類・キンモンホリガ(4,000倍)・(白モミズクシ)4,000倍)	テフルベンズロン	
モスビラノ顆粒水溶剤	○	顆粒水和剤	散布	2,000倍	2,000～4,000倍	4,000倍	収穫前日まで	3回	シロカゲムシ類・キンモンホリガ・キンモンハモグリガ・カメムシ類・アブラムシ類・リンゴタムシ類(カメムシ類・キンモンハモグリガ)	アセタミプリド	
テイアチWDG	○	水和剤	散布	10,000倍	5,000～10,000倍	5,000～10,000倍	収穫前日まで	2回	シロカゲムシ類・キンモンホリガ・キンモンハモグリガ・カメムシ類	スピネトラム	
テツパン液剤	○	液剤	散布	2,000倍	2,000倍		収穫前日まで	2回	シロカゲムシ類・キンモンホリガ・コナカイガラムシ類・アブラムシ類	シクラニプロール	
スカサトフロプロザル		フロプロザル	散布	2,000倍	1,500～2,000倍		収穫前日まで	5回	(ハマキムシ類・キンモンホリガ・シロカゲムシ類2,000倍)・アブラムシ類・キンモンハモグリガ・カメムシ類	トラロメトリン	
ロビソフット		噴射	噴射				収穫前日まで	7回	ヒメボクトウ・カミキリムシ類・スカシノミ類(噴射は5回、散布は2回以内)	フエンプロバトリン	
トランスノームフロプロザル		フロプロザル	散布	2,000倍	2,000～4,000倍	2,000～4,000倍	収穫前日	3回	アブラムシ類	スルホキサフロル	
カネアイトフロプロザル	○	フロプロザル	散布	1,000倍	1,000～1,500倍		収穫7日前まで	1回	カイガラムシ類・コアカオアミカメ・リンゴタムシ類	アセキノシル	
ダニコングアフロプロザル	○	フロプロザル	散布	2,000倍	2,000倍		収穫前日まで	1回	ハダニ類	スピルミト	
オネアイト水和剤	○	水和剤	散布	750倍	2,000倍		収穫前日まで	1回	リンゴハダニ・ナミハダニ・リンゴサビダニ	スピロキサフェン	
コネイト乳剤		乳剤	散布	1,000倍	750倍		収穫3日前まで	1回	ハダニ類	BPPS	
フーモン		乳剤	散布	1,000倍	1,000倍		収穫前日まで	1回	ハダニ類・キンモンホリガ・エキヤキアブラムシ・リンゴサビダニ	ミルベメクチン	
ネイトコネフロプロザル		フロプロザル	散布	1,000倍	1,000～1,500倍		収穫前日まで	1回	ナミハダニ・(リンゴハダニ1,000倍)	ホリグリセリン脂肪酸エステル	
コンフェューサー	○	36g/100本	散布	100本/10a	100～120本/10a		成虫発生初期から終期(果樹類)	2回	アブラムシ類・キンモンホリガ・アブラムシ類・アブラムシ類	NAC	
ミクロチナボ水和剤85		水和剤	散布	1,200倍	1,200倍		満開後1～4週間頃	2回	アブラムシ類・キンモンホリガ・アブラムシ類	ジケルフロップ	
ストッホール液剤		液剤	立木全面散布	1,500倍	1,000～1,500倍		収穫開始予定日の25日～7日前(但し2回散布の場合は10日程間隔をあける)	2回	ふじ・シナノスズメ・シナノリウツ・シナノホツペ・ぐんま各月以外の品種は散布する	NAA	
ヒオモン水溶剤		水溶剤	立木全面散布	1,500倍	1,000～2,000倍		収穫開始予定日の21～4日前	2回			

* 適用表に記載されている剤型は、商品上の剤型です。
 * チオアブナーメクスチル(トツジツンM水和剤)を含む剤を使用した場合は、ペンシル(ペンシール水和剤)を含む剤を使用しないこと。また、ペンシル(ペンシール水和剤)を含む剤を使用した場合は、チオアブナーメクスチル(トツジツンM水和剤)を含む剤を使用しないこと。ただし、塗布処理は除く。

* 曆採用欄の空欄は防除曆に記載のない薬剤

もも登録農薬適用表 (殺虫・殺菌)

(R6年11月現在)

用途	薬剤名	歴採用	剤型	使用方法	JA採用倍率	倍率	使用時期	使用回数	対象病害虫	成分名	
殺菌剤	毒劇								対象病害虫		
	殺菌剤	石炭硫黄合剤	〇	散布	10倍	7倍	発芽前		黒星病・開枯病・縮葉病	多硫化カルシウム	
	劇	硫酸銅4・12式ボルドー液	〇	散布	4-12式	4-12式			越冬病害虫・カイガラムシ類・ハダニ類・縮葉病	硫酸銅	
		ICボルドー4・12	〇	水和剤	散布	30倍	30~50倍	収穫60日前まで	せん孔細菌病	銅	
		アクリノト水和剤	〇	水和剤	散布	1,000倍	1,000~2,000倍	収穫21日前まで	せん孔細菌病	ストロブトマイシン	
		マイコシールD	〇	水和剤	散布	1,500倍	1,500~3,000倍	収穫21日前まで	せん孔細菌病	オキシトラサイクリン	
	劇	テラノフロアゾール	〇	フロアゾール	散布	600倍	600倍	収穫7日前まで	灰星病・ホモフジス腐敗病	シチランソ	
		ヘルソックスフロアゾール	〇	フロアゾール	散布	500倍	500倍	収穫7日前まで	せん孔細菌病・黒星病・縮葉病・灰星病	チチランソ	
		ロケール水和剤	〇	フロアゾール	散布	2,000倍	1,000~2,000倍	収穫前日まで	灰星病・ホモフジス腐敗病・黒星病	イミノクタジナル・ハシル酸塩	
		アンピルフロアゾール	〇	フロアゾール	散布	1,000倍	1,000~1,500倍	収穫前日まで	黒星病・ホモフジス腐敗病・黒星病	フロシオソ	
		スコア顆粒水和剤	〇	顆粒水和剤	散布	2,000倍	2,000倍	収穫前日まで	黒星病・灰星病	ヘキサコゾール	
		ナリアWDG	〇	顆粒水和剤	散布	2,000倍	2,000倍	収穫前日まで	うどんこ病・黒星病・すすかび病・炭疽病・灰星病・ホモフジス腐敗病・果実赤点病	ヒラクロストロピソ ホスカリト	
		スターナ水和剤	〇	水和剤	散布	1,000倍	1,000倍	収穫7日前まで	せん孔細菌病	オキソリニツク酸	
		ダコニール1000		フロアゾール	散布	1,000倍	1,000倍	収穫前日まで	黒星病・灰星病・黒斑病・うどんこ病・(縮葉病・休眠期)	TPN	
		ストロベートライフロアゾール		トライフロアゾール	散布	2,000倍	2,000倍	収穫前日まで	黒星病・灰星病・ホモフジス腐敗病・(枝折病・うどんこ病1000倍)	クレシキシルメチル	
殺虫剤		トツジジM水和剤		水和剤	散布	1,000~1,500倍	収穫前日まで	6回	白紋羽病	チオアブネートメチル	
		インダーフロアゾール		フロアゾール	散布	(5,000倍)	10分間根幹部浸漬	1回	黒星病・灰星病	フェンゾコソゾール	
		サイアノソックス水和剤		水和剤	散布	※2025年10月登録失効	1,000倍	収穫21日前まで	シシトイムシ類・ハバキムシ類・アブラムシ類・カイガラムシ類・モモハモグリカ	CYAP	
		カスケード乳剤		乳剤	散布	2,000倍	4,000倍	収穫14日前まで	ハダニ類・(モモハモグリカ2,000~4,000倍)	フルフェノクスロン	
		スミチオン水和剤40		水和剤	散布	1,000倍	800~1,200倍	6回	シシトイムシ類・ハバキムシ類・アブラムシ類(カラムシ類800~1,000倍)・モモハモグリカ	※1MEP	
		スミチオン乳剤		乳剤	散布	1,000倍	1,000倍	収穫3日前まで	ハバキムシ類・クワシロカイガラムシ・クビアカツヤカミキリ(成虫発生期直し、収穫3日前まで)		
		ダイアジノン水和剤34	〇	水和剤	散布	1,000倍	1,000~1,500倍	4回	アブラムシ類・モモハモグリカ・(ナシバシシツカ心折防止)	ダイアジノン	
	殺虫剤	劇	モスビラン顆粒水溶液	〇	顆粒水溶液	散布	4,000倍	2,000~4,000倍	3回	モモツツキリノムシ・シシトイムシ類・アブラムシ類・カラムシ類・アザミウラ類・モモハモグリカ・(コナシバ・カイガラムシ類2,000倍・クビアカツヤカミキリ)・コナメシ類成虫	アセタミプリト
			アフロート水和剤		水和剤	散布	1,000倍	1,000倍	3回	カイガラムシ類幼虫	アフロアエジン
			スプレーオイル		乳剤	散布	25~50倍	200倍	1回	ハダニ類・ハダニ類の越冬卵・カイガラムシ類	ワシソ油
			ラビキラー乳剤		乳剤	散布	(200倍)		1回	コナシバ	※1MEP・PAP
			ダントツ水溶液		水溶液	散布	2,000~4,000倍	2,000~4,000倍	3回	アブラムシ類・カラムシ類・モモハモグリカ・シシトイムシ類(コナメシ類・クビアカツヤカミキリ2,000倍)	クロチアニジン
			カネアイトフロアゾール	〇	フロアゾール	散布	1,500倍	1,000~1,500倍	1回	ハダニ類・(モモハモグリカ1,000倍)	アセキソシル
			ダニゴツタフロアゾール	〇	フロアゾール	散布	2,000倍	2,000倍	1回	ハダニ類・(モモハモグリカ1,000倍)	ヒロルシメト
			マイトコネフロアゾール	〇	フロアゾール	散布	2,000倍	2,000倍	1回	ハダニ類・モモハモグリカ	エビロクシト
		サムコルフフロアゾール10	〇	フロアゾール	散布	5,000倍	5,000倍	2回	シシトイムシ類・モモハモグリカ・ハバキムシ類・コナシバ	クロラントラニリロール	
劇		ハユアード顆粒水和剤		顆粒水和剤	散布	5,000倍	2,000~4,000倍	3回	シシトイムシ類・アブラムシ類・モモハモグリカ	チチクロフロリト	
		フェニックスフロアゾール	〇	フロアゾール	散布	(500倍)	200~500倍	2回以内	コナシバ	フルベンシタミト	
		スカウトフロアゾール	〇	フロアゾール	散布	2,000倍	2,000~3,000倍	5回	ハバキムシ類・モモハモグリカ・シシトイムシ類・アブラムシ類	トラロキソリン	
		テツパン液剤	〇	液剤	散布	2,000倍	2,000倍	2回	シシトイムシ類・ハバキムシ類・コナシバ・アブラムシ類・カラムシ類・モモハモグリカ・クビアカツヤカミキリ	シクラニリロール	
フェロモン剤		コンフェューサーMM	〇	56g/100本	フェロモン・セグメント・トリロルルア・ヒメチラルブ・ヒリタルブ剤	100本/10a	100~120本/10a	成虫発生初期~終期(黒樹類)	2回	チシバシシトイカ・モモハモグリカ・リンゴコカクモシシバキ・モモシシトイカ・(チヤノコカクモシバ120本/10a)	オリラルブ・トートリラルブ ヒメチラルブ・ヒリタルブ剤

※1: MEPを含む農薬の総使用回数は6回まで。※適用表に記載されている剤型は、商品上の剤型です。

* 曆採用欄の空欄は防除曆に記載のない薬剤

うめ登録農薬適用表 (殺虫・殺菌)

(R6年11月現在)

用途	薬剤名	曆採用	剤型	使用方法	JJA採用倍率	倍率	使用時期	使用回数	対象病害虫	成分名					
殺菌剤	石灰硫黄合剤	○	液剤	散布	10倍	7～10倍	発芽前		越冬病害虫・カイガラムシ類・ハダニ類・糖葉病 縮葉病	多硫化カルシウム					
						8倍									
殺虫剤	ICバルドー66D	○	水和剤	散布	50倍	50倍	葉芽発芽前まで		かいよう病	銅 硫酸					
						サルファーソル					500倍				
						ホリバリン水和剤					1,000倍	収穫30日前まで	3回	黒星病・すず斑病・灰色かび病	イミダゾリジン酸鹽・ポリオキシン
						マイコソールト					1,500倍	収穫21日前まで	4回	かいよう病	オキシネトラサイクリン
						ニコフ顆粒水和剤					3,000倍	収穫前日まで	3回	黒星病 (2,000～3,000倍) ・すず斑病 (黒星病・すず斑病2,000～3,000倍) 灰色かび病・灰星病	シフェノコチニール
						オニシヤイン水和剤					3,000倍	収穫14日前まで	3回	黒星病・すず斑病	オキスボコチニール塩酸
						テラシフロアブル					2,000倍	2,000倍	2回	黒星病	シチアゾン
						ラビキラー乳剤					200倍	200倍	2回	落葉後～発芽前 (休眠期)	※IMEP・PAP
						スチルオーイル					50倍	30～50倍	2回	カイガラムシ類	マシソ油
						スミチオン乳剤					1,000倍	1,000倍	2回	ハタキムシ類・アメリカシロヒトリ	※IMEP
殺虫剤	モスピラン顆粒水溶液	○	顆粒水和剤	散布	4,000倍	1,000～2,000倍	収穫14日前まで	2回	ハタキムシ類	アセタミプリド					
						2,000～6,000倍									
						2,000～4,000倍					収穫7日前まで	2回	アブラムシ類	フロニカミド	
						1,000～2,000倍					収穫7日前まで	5回	ハタキムシ類・カイガラムシ類	マラソン	
						2,000～3,000倍					収穫前日まで	3回	アブラムシ類・カメムシ類 (ケシキイ類2,000倍)	クロチアニジン	
ダントツ水溶液	○	水溶液	散布	2,000～4,000倍	200倍	開花期まで	1回	コスカシバ	フルベンジアミド						
フェニックスフロアブル	○	フロアブル	散布	(200倍)	2,000～4,000倍	200倍	開花期まで	1回	コスカシバ	ヒリルキネチン					
コルト顆粒水和剤		水和剤	散布	2,000倍	2,000～4,000倍	2,000倍	収穫前日まで	3回	アブラムシ類・カイガラムシ類	スルホキサフロル					
トランスオームフロアブル	○	フロアブル	散布	2,000倍	2,000倍	2,000倍	収穫3日前まで	3回	アブラムシ類・(カイガラムシ類1,000～2,000倍)	シナンセルブ					
フレロエチル		フロアブル	散布	2,000倍	40～100本/10a	2,000倍	成虫発生初期～終期	3回	コスカシバ	シナンセルブ					

※ 1：MEPを含む農薬の総使用回数は2回以内

すもも・ブルーベリー登録農薬適用表 (殺虫・殺菌)

(R6年11月現在)

用途	薬剤名	曆採用	剤型	使用方法	JJA採用倍率	倍率	使用時期	使用回数	対象病害虫	成分名					
殺菌剤	石灰硫黄合剤	○	液剤	散布	10倍	7～10倍	発芽前		越冬病害虫・カイガラムシ類・ハダニ類・糖葉病 縮葉病	多硫化カルシウム					
						140倍									
殺虫剤	アクリフト水和剤	○	水和剤	散布	1,000倍	1,000倍	収穫30日前まで	2回	かいよう病	ストレプトマイシン					
						2,000倍									
						1,500倍					収穫3日前まで	3回	灰星病	イミノクワシツアルベシル酸鹽	
						3,000倍					収穫前日まで	3回	灰星病	イプロジオン	
						1,000倍					収穫前日まで	2回	灰星病	オキスボコチニール塩酸	
						20～50倍					発芽前	4回	シシトマシ類	ヘキサコチニール	
						1,000倍					収穫21日前まで	2回	アブラムシ類	ダイトジン	
						1,000～1,500倍					2,000～4,000倍	2回	アブラムシ類・ハタキムシ類・アメリカシロヒトリ	CYAP	
						※2025年10月登録未効					4,000倍	2,000～5,000倍	3回	アブラムシ類・シシトマシ類 (カイガラムシ類2,000倍)	アセタミプリド
						2,500倍					100倍	100倍	3回	カイよう病	クロラントラニプロール
1,000倍	2,000～4,000倍	2回	休眠期 (落葉後～萌芽前)	1回	コスカシバ・キクイムシ類	MEP									
4,000倍	2,000～4,000倍	2,000倍	開花期まで	1回	コスカシバ	チアクロフリド									
(200倍)	4,000倍	3,000倍	収穫前日まで	2回	ケムシ類・コスカシバ	フルベンジアミド									
3,000倍	3,000倍	2,000倍	収穫14日前まで	2回	アブラムシ類	シフルトリン									
2,000倍	2,000倍	40～100本/10a	収穫前日まで	3回	アブラムシ類・シシトマシ類	トラロメトリン									
フレロエチル		フロアブル	散布	2,000倍	40～100本/10a	2,000倍	成虫発生初期～終期	3回	コスカシバ	シナンセルブ					

※適用表に記載されている剤型は、商品上の剤型です。

* 厩採用欄の空欄は防除層に記載のない薬剤

柿登録農薬適用表 (殺虫・殺菌)

(R6年11月現在)

用途	毒劇	薬剤名	厩採用	剤型	使用方法	JA採用倍率	倍率		使用時期	使用回数	対象病害虫	成分名
							7~10倍	100倍				
殺菌剤 殺虫剤		石灰硫黄合剤	○	液剤	散布	10倍	7~10倍	100倍	発芽前	2回	越冬病害虫・カイガラムシ類・ハダニ類・縮葉病 黒星病・うどんこ病	多硫化カルシウム
							500倍	500倍				
							500倍	500倍				
							1,000倍	800~1,000倍				
							3,000倍	3,000倍				
殺菌剤		ヘルケート水和剤	○	水和剤	散布	1,000倍	1,000~1,500倍	1,000~1,500倍	収穫45日前まで	3回	落葉病・炭疽病・うどんこ病・黒星病・すす点病・灰色かび病	イミダゾールベンジル酸塩
							3,000倍	3,000倍				
							3,000倍	3,000倍				
							1,500倍	1,000~1,500倍				
							1,000倍	1,000倍				
							600倍	400~800倍				
							25倍	25~50倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
殺菌剤		ダインアゾニン水和剤34	○	水和剤	散布	1,000倍	1,000倍	1,000倍	開花期まで、但し収穫45日前まで	2回	ハダニ類・オオウタコカイガラムシ若齢幼虫・アメリカシロヒトリ	ダインアゾニン
							1,000倍	1,000倍				
							2,000倍	2,000~4,000倍				
							2,000倍	2,000~4,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							25倍	25~50倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
殺菌剤		スターケル顆粒水溶剤	○	顆粒水溶剤	塗布	1μあたり1㎡の水で混合	20~40g/樹	2,000倍	発芽前~発芽期	1回	カキノヘタムシガ、コナカイガラムシ類・カメムシ類・アザミウラ類	シノテフラン
							2,000倍	2,000倍				
							2,000倍	2,000倍				
							2,000倍	2,000倍				
							2,000倍	2,000倍				
							2,000倍	2,000倍				
							2,000倍	2,000倍				
							2,000倍	2,000倍				
							2,000倍	2,000倍				
							2,000倍	2,000倍				
殺菌剤		ダントツ水溶剤	○	水溶剤	散布	2,000倍	2,000~4,000倍	2,000~4,000倍	収穫7日前まで	3回	アザミウラ類・コナカイガラムシ類・カメムシ類・カキノヘタムシガ、カキノヘタムシガ	クロチアニジン
							2,000倍	2,000倍				
							2,000倍	2,000倍				
							2,000倍	2,000倍				
							2,000倍	2,000倍				
							2,000倍	2,000倍				
							2,000倍	2,000倍				
							2,000倍	2,000倍				
							2,000倍	2,000倍				
							2,000倍	2,000倍				
殺菌剤		オリオン水和剤40	○	水和剤	散布	1,000倍	1,000倍	1,000倍	収穫21日前まで	1回	アザミウラ類・イラカ類・カイガラムシ類・カキノヘタムシガ、ハズモンヨトウ、カキノヘタムシガ、イ・ケムシ類・ハダニ類	アラニカルブ
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
殺菌剤		サムコルフロアブル10	○	フロアブル	散布	5,000倍	5,000倍	5,000倍	収穫前日まで	3回	ヒロアリアオイラガ、ハダニ類・ワタモンズダラメイガ、カキノヘタムシガ、ハズモンヨトウ、ケムシ類	クロラントラニリプロール
							5,000倍	5,000倍				
							5,000倍	5,000倍				
							5,000倍	5,000倍				
							5,000倍	5,000倍				
							5,000倍	5,000倍				
							5,000倍	5,000倍				
							5,000倍	5,000倍				
							5,000倍	5,000倍				
							5,000倍	5,000倍				
殺菌剤		トランスノームフロアブル	○	フロアブル	散布	2,000倍	1,000~2,000倍	1,000~2,000倍	収穫前日まで	3回	カイガラムシ類	ヌルホキサゾール
							2,000倍	2,000倍				
							2,000倍	2,000倍				
							2,000倍	2,000倍				
							2,000倍	2,000倍				
							2,000倍	2,000倍				
							2,000倍	2,000倍				
							2,000倍	2,000倍				
							2,000倍	2,000倍				
							2,000倍	2,000倍				

* 厩採用欄の空欄は防除層に記載のない薬剤

マルメロ登録農薬適用表 (殺虫・殺菌)

(R6年11月現在)

用途	毒劇	薬剤名	厩採用	剤型	使用方法	JA採用倍率	倍率		使用時期	使用回数	対象病害虫	成分名
							7~10倍	30倍				
殺菌剤 殺虫剤		石灰硫黄合剤	○	液剤	散布	10倍	7~10倍	30倍	発芽前	4回	ハダニ類 越冬病害虫・カイガラムシ類	多硫化カルシウム
							1,000倍	1,000倍				
							1,200倍	1,200倍				
							2,000倍	2,000倍				
							2,000倍	2,000倍				
殺菌剤		スコープ顆粒水和剤	○	顆粒水和剤	散布	2,000倍	1,200~2,000倍	1,200~2,000倍	収穫7日前まで	4回	ごま色斑点病 黒点病	TPN
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
殺菌剤		メカニカル水和剤80	○	水和剤	散布	1,200倍	1,200~2,000倍	1,200~2,000倍	収穫14日前まで	4回	ごま色斑点病 黒点病	有機銅
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
殺菌剤		サイアノアックヌ水和剤	○	水和剤	散布	1,000倍	1,000倍	1,000倍	収穫45日前まで	2回	アブラムシ類・シロアゲムシ類	CYAP
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
							1,000倍	1,000倍				
殺菌剤		アライオンフロアブル	○	フロアブル	散布	1,500倍	1,500倍	1,500倍	収穫14日前まで	2回	シロアゲムシ類	ヘルムトリン
							1,500倍	1,500倍				
							1,500倍	1,500倍				
							1,500倍	1,500倍				
							1,500倍	1,500倍				
							1,500倍	1,500倍				
							1,500倍	1,500倍				
							1,500倍	1,500倍				
							1,500倍	1,500倍				
							1,500倍	1,500倍				
殺菌剤		フカリタツチ乳剤	○	乳剤	散布	1,500倍	1,000~2,000倍	1,000~2,000倍	収穫前日まで	2回	ハダニ類	フロピシクイコルモノ/脂肪酸エステル
							1,500倍	1,500倍				
							1,500倍	1,500倍				
							1,500倍	1,500倍				
							1,500倍	1,500倍				
							1,500倍	1,500倍				
							1,500倍	1,500倍				
							1,500倍	1,500倍				
							1,500倍	1,500倍				
							1,500倍	1,500倍				

* 適用表に記載されている剤型は、商品上の剤型です。

* 歴採用欄の空欄は防除層に記載のない薬剤

大粒種ぶどう（露地・施設）登録農薬適用表 殺菌

(R6年11月現在)

用途	薬剤名	歴採用	剤型	使用方法	JA採用倍率	倍率	使用時期	使用回数	対象病害虫		成分名
									越冬病害虫・ハダニ類	多硫化カルシウム	
殺菌剤	石灰硫黄合剤	○	液剤	散布	20倍	20～40倍	冬期	1回	越冬病害虫・ハダニ類	多硫化カルシウム	
						200倍	休眠期				
	テラントフロアブル	○	フロアブル	散布		1,000倍	1,000倍	落弁期まで、但し収穫75日前まで	2回	黒とう病・晩腐病・枝彫病・べと病	ジチアノン
							200～500倍	休眠期			
	ベンレート水和剤			水和剤	散布	2,000倍	2,000倍	収穫45日前まで	3回	芽枯病・黒とう病 晩腐病・褐斑病・灰色かび病・うどんこ病	ベンシル
							2,000～3,000倍				
	ベンコゼブ水和剤	○		水和剤	散布	1,000倍	1,000倍	収穫45日前まで	2回	黒とう病・晩腐病・褐斑病・べと病・さび病	マンゼブ
							ジマンダイセン水和剤				
	ロゾール水和剤			水和剤	散布	1,000倍	1,000倍	開花期～幼果期、 但し収穫60日前まで	3回	黒とう病 白腐病・灰色かび病	イプロジオン
							1,000～1,500倍				
	アリエチンC水和剤			水和剤	散布	800倍	400～800倍	収穫30日前まで	3回	黒とう病・(晩腐病400～600倍)・べと病・ 灰色かび病(800倍)	※1キヤブタン・ホセチル
							800倍	収穫30日前まで			
オーソサイト水和剤80	○		水和剤	散布	800倍	800倍	収穫30日前まで	3回	黒とう病・晩腐病・褐斑病・枝彫病・べと病・ 灰色かび病	※1キヤブタン	
キノンドー水和剤80	○		水和剤	散布	1,200倍	1,200～1,600倍	収穫45日前まで	4回 開花後は1回	黒とう病・(べと病1,200倍)	有機銅	
フルピカフロアブル			フロアブル	散布	3,000倍	2,000～3,000倍	収穫30日前まで	2回	灰色かび病・うどんこ病	メバニヒリム	
ストロピートライ フロアブル			ドライ フロアブル	散布	3,000倍	2,000～3,000倍	収穫14日前まで	3回	黒とう病・晩腐病・褐斑病・枝彫病・べと病・ うどんこ病	クレキシムメチル	
						3,000倍					
劇 硫酸銅4式ボルドー液				散布		3-2～6-4式			黒とう病・べと病	硫酸銅	
						25～200倍					
ICボルトー66D	○		水和剤	散布	40倍	50倍			さび病・黒とう病	銅	
						100倍					
ムツシボルトーDF			水和剤	散布	500倍	500倍			べと病・さび病	銅	
						750～2,000倍					
ホリハリシ水和剤			水和剤	散布		750～1,000倍	収穫60日前まで	2回	うどんこ病 黒とう病・晩腐病・褐斑病	イミノクワジン酢酸塩 ホリオキシジン	
						750～1,500倍					
オンリーワンフロアブル	○		フロアブル	散布	2,000倍	2,000倍	収穫前日まで	3回	灰色かび病・晩腐病・褐斑病・すす点病・ 黒とう病・うどんこ病・(白腐病1,000倍)	テラコナソール	
ドミニクスフロアブル	○		フロアブル	散布	2,000倍	2,000倍	収穫60日前まで	3回	べと病・晩腐病・黒とう病	シアソフアミド TPN	
セトピーフフロアブル20	○		フロアブル	散布	2,000倍	1,000～2,000倍	収穫21日前まで	3回	晩腐病・黒とう病・うどんこ病・灰色かび病	マンチオピロピ	
						2,000～3,000倍	収穫前日まで				
スクレパフロアブル	○		フロアブル	散布	3,000倍	2,000～3,000倍	収穫前日まで	3回	灰色かび病・黒とう病・うどんこ病・ 褐斑病・晩腐病・さび病	マンチオピロピ	
						1,500倍	収穫7日前まで				
フルーツセイバー			フロアブル	散布	1,500倍	1,500倍	収穫7日前まで	3回	べと病	シアソフアミド エタホキサム	

* 1：キヤブタンを含む農薬の総使用回数は3回以内

用途	薬剤名	歴採用	剤型	使用方法	JA採用倍率	倍率	使用時期	使用回数	対象病害虫	成分名
べと専用 殺菌剤	ランマンフロアブル	○	フロアブル	散布	2,000倍	1,000～2,000倍	収穫14日前まで	3回	べと病	シアソフアミド
	エトマンフロアブル	○	フロアブル	散布	1,000倍	1,000倍	収穫7日前まで	4回	べと病	エタホキサム

※適用表に記載されている剤型は、商品上の剤型です。

* 厩採用欄の空欄は防除層に記載のない薬剤

大粒種ぶどう（露地・施設）登録農薬適用表 殺虫

(R6年11月現在)

用途	薬剤名	厩採用	剤型	使用方法	JA採用倍率	倍率	使用時期	使用回数	対象病害虫	成分名
毒劇	ラビキラー乳剤		乳剤	散布	200倍	200～300倍	発芽前（休眠期）	2回	フトウトラカミキリ	※2MEP・PAP
	スミチオン水和剤40		水和剤	散布	1,000倍	800～1,000倍	収穫21日前まで	2回	フトウトラカミキリ・(クワコナカイガラムシ800～1,200倍)・フタテンヒメヨコバエ・アカガネサルハムシ・フトウヌカシバ・コガネムシ類成虫	※2MEP
	ガットサイトS		乳剤	主幹部に塗布 又は散布 散布(1.5倍)	1(原液)	1(原液)～1.5倍	幼虫侵入期直前～侵入初期、 但し収穫21日前まで	2回	コウモリカ・クビアカスカシバ	※2MEP
	ハダシSG水溶性	○	水溶性	散布	1,500倍	1,500倍	収穫21日前まで	5回	チャノキイロアザミウマ・フタテンヒメヨコバエ・スカシバ類	カルダップ
	モスビラン顆粒水溶性	○	顆粒水溶性	散布	4,000倍	2,000倍 2,000～4,000倍	収穫4日前まで	3回	ツツクアオカスミカメ・(フトウトラカミキリ収穫後秋期)・トビイロトラガカイガラムシ類・フタテンヒメヨコバエ・アザミウマ類・コガネムシ類成虫	アセタミプリト
	ヒラニカ水和剤		水和剤	散布	2,000倍	2,000倍	収穫30日前まで	1回	ハダニ類	テフエンピラト
	アトマイヤー顆粒水和剤		顆粒水和剤	散布	5,000～10,000倍	5,000～10,000倍	収穫21日前まで(但し、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	2回	アザミウマ類・フタテンヒメヨコバエ	イミダクロリト
	マイトコネフロアブル		フロアブル	散布	1,000～1,500倍	1,000～1,500倍	収穫21日前まで	1回	ハダニ類・(フトウサビダニ1,000倍)	ピクエナゼート
	カネマイトフロアブル		フロアブル	散布	1,000～1,500倍	1,000～1,500倍	収穫4日前まで	1回	ハダニ類	アセキノシル
	ダニゲッターフロアブル		フロアブル	散布	2,000倍	2,000倍	果実肥大期(大豆大期)～収穫前日	1回	ハダニ類	スビロキシフェン
	テツパン液剤	○	液剤	散布	2,000倍	2,000倍	収穫前日まで	2回	ケムシ類・コガネムシ類・カメムシ類・チャノキイロアザミウマ・クビアカスカシバ・ハダニ類	シクラニリフロール
	スカタトフロアブル		フロアブル	散布	2,000倍	2,000～3,000倍	収穫21日前まで	3回	チャノキイロアザミウマ・フタテンヒメヨコバエ・ハダニ類(2,000倍)・コガネムシ類成虫(2,000倍)	トラロストリン
	スタークル顆粒水溶性		顆粒水溶性	散布	2,000倍	3,000倍 2,000倍 1,000～2,000倍	収穫前日まで	3回	フタテンヒメヨコバエ カメムシ類・フトウトラカミキリ	シノテラン
	アグレスト液剤		液剤	散布又は房着後 花房浸漬	1,000倍 (200PPM)	1,000倍 (200PPM)	満開予定日の14日前～満開期 満開予定日の14日前～満開期	1回	第1回目シバレルン処理と併用	ストレプトマイシン硫酸塩

※2：MEPを含む農薬の総使用回数は4回以内(収穫終了後～萌芽まで2回、萌芽後2回以内)

※適用表に記載されている剤型は、商品上の剤型です。

適用と使用法

ジベレリン粉末

作物名	使用目的	使用濃度 ジベレリン	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む 農薬の総使用回数
ぶどう (巨峰系 4倍体品種) [無核栽培]	無種子化 果粒肥大促進	第1回目 12.5～25ppm	満開時～満開3日後 (第1回目)	2回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計4回以内	第1回目：花房浸漬	3回以内 但し降雨等により再処理を行う場合は合計5回以内
		第2回目 25ppm	及び満開10～15日後 (第2回目)		第2回目：果房浸漬	
		1回処理の場合 25ppm	満開3～5日後 (落花期)	1回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内	フルメット 10ppm 液に加用 花房浸漬	

濃度	1,000ppm	500ppm	100ppm	50ppm	25ppm	12.5ppm	10ppm	5ppm	1ppm
小管1本(ジベレリン50mg含有) 当りの水量	50ml	100ml	500ml	1ℓ	2ℓ	4ℓ	5ℓ	10ℓ	50ℓ
小管1本(ジベレリン200mg含有) 当りの水量	200ml	200ml	2ℓ	4ℓ	8ℓ	16ℓ	20ℓ	40ℓ	200ℓ

フルメット液剤

作物名	使用目的	使用濃度 ホルククロ フェニユロン	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ホルククロ フェニユロンを含む 農薬の総使用回数
ぶどう (巨峰系 4倍体品種) [無核栽培]	着粒安定	2～5ppm	開花始め～満開前 又は 満開時～満開3日後	1回 但し降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内	開花始め～満開前に使用する場合 花房浸漬	3回以内 但し降雨等により再処理を行う場合は合計5回以内
	果粒肥大促進	5～10ppm	満開10～15日後		満開時～満開3日後に使用する場合 ジベレリンに加用花房浸漬	
	無種子化 果粒肥大促進	10ppm	満開3～5日後 (落花期)		ジベレリンに加用するか又は 単用で処理果房浸漬	
					ジベレリンに加用花房浸漬	

フルメット液剤10ml当りの薬液調整量

濃度	500ppm	200ppm	20ppm	10ppm	5ppm	3ppm	2ppm	1ppm
1ピン10ml当りの水量	20ml	50ml	500ml	1ℓ	2ℓ	3.3ℓ	5ℓ	10ℓ

アグレプト液剤

作物名	使用目的	倍率	使用時期	回数	使用方法
ぶどう	無種子化	1,000倍 (200ppm)	満開予定日の14日前～開花始期	1回	200ℓ / 10a 散布 但し、開花始期までに散布できなかった場合は、第1回ジベレリン液に加用して花房浸漬

※ジベレリン、フルメットの登録事項については、巨峰系4倍体品種しか載せてありません。
他品種については、使用前に確認ください。

ぶどう 大粒種・小粒種分類一覧

小粒種…デラウエア、シラガブドウ、やまぶどう

大粒種…●巨峰系 4倍体品種 (巨峰、ピオーネ、安芸クイーン、藤稔、サニールージュ、ゴルビー、シナノスマイル、竜宝、クイーンニーナ 他)
●2倍体米国系品種 (スチューベン、アーリースチューベン、キャンベル、ナイアガラ、ポートランド、ノースレッド 他)
●2倍体欧州系品種 (瀬戸ジャイアンツ、ロザリオピアンコ、ルビーオクヤマ、シャインマスカット、クイーンルージュ 他)
●3倍体品種 (キングデラ、ナガノパープル 他)

除草剤の特長と登録内容

●グルホシネート系除草剤

雑草の茎葉部より吸収し、地上部をすばやく枯殺する。タデ類、スギナ類に特に効果が高く、植物体内にアンモニアが蓄積され、植物が枯死する。散布適期は雑草生育期で、草丈30cm以下まで。

農薬名	作物名	適用雑草名	使用時期	使用量(/10a)		使用方法	グリホシネート系除草剤総使用回数
				薬量(原液)	希釈水量		
バスタ液剤	りんご キウイフルーツ	一年生雑草	収穫21日前まで	300~500ml		雑草茎葉散布	3回以内
		多年生雑草		りんご 500~1,000ml キウイフルーツ 500~750ml	通常散布 100~150ℓ/10a (※りんご・ぶどうのみ 少量散布 30~40ℓ/10a)		
	ぶどう、なし、ブルーベリー、 桜桃、ネクタリン、かき、もも、うめ	一年生雑草	収穫前日まで	300~500ml			
		多年生雑草		500~1,000ml			
	くり	一年生雑草	収穫30日前まで (雑草生育期 草丈30cm以下)	300~500ml			
		多年生雑草		500~750ml			
ザクサ液剤	りんご	一年生雑草	収穫21日前まで (雑草生育期)	300~500ml		100~150ℓ	
		多年生雑草		500~1,000ml			
	くり	一年生雑草	収穫30日前まで (雑草生育期)	300~500ml			
		多年生雑草		500~1,000ml			
	果樹類 (かんきつ、りんご、びわ、くり、 いちじょう種子、キウイフルーツを除く)	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期)	300~500ml			
		多年生雑草		500~1,000ml			

●ジクワット・パラコート系除草剤

非選択性接触型茎葉処理除草剤で、あらゆる植物の緑色部を速やかに枯らす。土に接触すると直ちに不活性化し、生育中の作物に対しても根部吸収による薬害の心配が無い。雑草が生え揃ったらできるだけ早い時期に散布する。

農薬名	作物名	適用雑草名	使用時期	使用量(/10a)		使用方法	ジクワット系除草剤総使用回数
				薬量(原液)	希釈水量		
ブリグロックスL	果樹類 (かんきつを除く)	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期)	800~1,000ml		雑草茎葉散布	5回以内
		多年生雑草		1,500~2,000ml			
		スギナ		1,000~2,000ml			
レグロックス	果樹類	果樹園下草 一年生雑草	収穫30日前まで (雑草生育期)	300~500ml	70~100ℓ		

●グリホサート系除草剤

雑草の茎葉部より吸収し根まで確実に枯らす。他の系統の除草剤より効果の発現は遅いが、持続性が期待できる。

果樹類での登録の為、使いやすい。散布適期は雑草生育期で、草丈30cm以下まで。

主幹部に除草剤が付着すると、皮部に障害を生じて樹が衰弱することがあるので散布には十分注意する。

低圧で飛散の少ない少量専用ノズル及び飛散防止カバーを使用する。ヒコバエは除去しておく。

農薬名	作物名	適用雑草名	使用時期	使用量(/10a)		使用方法	グリホサート系除草剤総使用回数
				薬量(原液)	希釈水量		
ラウンドアップ マックスロード	果樹類	一年生雑草	収穫7日前まで	200~500ml		雑草茎葉散布	3回以内
		多年生雑草		500~1,000ml			
		スギナ		1,500~2,000ml			
		マルバツユクサ		500~1,500ml			
タッチダウンIQ	果樹類 (かんきつを除く)	一年生雑草	収穫5日前まで	250~500ml		25~100ℓ	
		多年生雑草		500~1,000ml			
		スギナ		1,500~2,000ml			

icボルドー 一覧表

種 類	66D	48Q	412
塩基性硫酸銅(%)	28.1	31.2	35.0
性 状	青色水和性粘稠懸濁液体		
急 性 毒 性	普通物相当		
魚 毒 性	B類相当	B類相当	A類相当
作 用 物 害 害 積 倍 数	<ul style="list-style-type: none"> ●ぶどう(べと病): 25~100倍 ●うめ(かいよう病): 50倍 *葉芽発芽前まで ●おうとう(せん孔細菌病): 40倍 ●キウイフルーツ(かいよう病): 50倍 	<ul style="list-style-type: none"> ●なし(黒星病): 30倍 *収穫後~開花前 	<ul style="list-style-type: none"> ●りんご(斑点落葉病): 20~50倍 ●もも(せん孔細菌病): 30~50倍 ●かき(落葉病): 50倍 ●すもも(黒斑病・かいよう病): 30倍 ●マルメロ(ごま色斑点病): 30倍

- 注 ① 一旦凍結させると、解凍しても粒子が粗くなって噴霧器が目詰まりするのでご注意ください。
 ② 殺ダニ剤、有機リン剤は現在慣行ボルドー液で使用している物のみご使用ください。
 意 ③ 取り扱い上の注意事項をよく読んだ上でご使用ください。

展着剤の特徴と登録内容

●一般展着剤

薬液の分散性、作物への湿展性、付着性をバランスよく向上させ、薬剤の効果を安定化させる。

農薬名	適用農薬	作物名	JA採用倍率	倍率	使用方法	湿展性	付着性	浸透性	固着性	懸垂性	備考
ハイテンパワー	殺菌剤 殺虫剤	果樹類	10,000倍	5,000~ 10,000倍	添加	△	△	-	-	△	

●機能性展着剤

薬液の浸透性・浸達性を向上させ、薬剤の効果を安定化させる。※開花期は薬害の可能性があるので、使用に注意する。

農薬名	適用農薬	作物名	JA採用倍率	使用量	使用方法	湿展性	付着性	浸透性	固着性	懸垂性	備考
ササラ	殺菌剤 殺虫剤	果樹類	2,000倍	2,000~ 3,000倍	添加	◎	○	-	-	◎	消泡性、凝集抑制効果
ドライバー			2,000~ 3,000倍	1,000~ 5,000倍		◎	○	△	-	△	隙間への広がり、速乾性
ニーズ	摘果剤	りんご	1,000倍	1,000~ 2,000倍		◎	○	◎	-	△	りんご摘果剤に使用
	殺菌剤	もも				◎	○	◎	-	○	
アプローチB.I	殺菌剤 殺虫剤	果樹類		1,000倍		○	○	◎	-	○	
フーモン	殺菌剤 殺虫剤	果樹類	1,000倍	1,000倍		○	◎	-	-	○	ハダニ気門封鎖剤、うどんこ病登録あり
		りんご		1,000~ 2,000倍		○	◎	-	-	○	

●固着性展着剤

薬液の作物への付着性、固着性を向上させ、耐雨性を安定化させる。

農薬名	適用農薬	作物名	JA採用倍率	使用量	使用方法	湿展性	付着性	浸透性	固着性	懸垂性	備考
アピオンE	殺菌剤 殺虫剤	果樹類	2,000倍	500~ 2,000倍	添加	-	◎	-	◎	△	梅雨時期、ボルドー混用晴天時散布推奨
K.Kステッカー	殺菌剤 殺虫剤	果樹類	2,500倍	2,500~ 3,000倍		○	◎	-	◎	△	固着性、湿展性を両立梅雨時期、ボルドー混用

〈項目概要〉

◎：効果高い ○：効果あり △：やや効果がある -：特筆する効果は期待できない

湿展性：濡れ性 付着性：付着量 浸透性：作物内への浸み込み 固着性：耐雨性 懸垂性：薬剤のとかしやすさ、調液後の沈殿のしにくさ

8. 上伊那統一施肥基準（土壌、標高差があるので土壌検査の結果を基本とする）

品目	肥料	年間 施肥量	施肥時期					成分(kg)				備考
			11月	3月	5月	8月	9月	N	P	K	Mg	
りんご	フルーツパワー上伊那	2袋	2					4.0	1.2	0.6	2.0	※樹勢をみてフルーツパワー上伊那の施肥量を調整する。
	マグゴールド	1袋		1							9	
	硫安	1袋		1				4.2				
	パワーリン3号	1袋	1						6.0		0.6	
	サンライム	2袋	2									
	合計							8.2	7.2	0.6	11.6	
二十世紀	フルーツパワー上伊那	4袋	4					8.0	2.4	1.2	4.0	※石灰の不足の場合はサンライムを施用する。 ※微量元素の不足の場合は、BMマルチサポートまたは、マグマンBを施用する。 ※ほう素欠乏防止に、ほう砂を2年に1度10a当り2kg全面施用する。 ※マグゴールド・パワーリン3号サンライム・ほう砂に変えて畑の味方10a5袋を施用できる。
	マグゴールド	1袋		1							9	
	追肥グリーン	1袋					1	5.8	0.6			
	パワーリン3号	1袋	1						6.0		0.6	
	サンライム	2袋	2									
	合計							13.8	9.0	1.2	13.6	
赤梨 (幸水・南水・豊水・洋なし他)	フルーツパワー上伊那	5袋	5					10.0	3.0	1.5	5.0	※マグゴールド・パワーリン3号サンライム・ほう砂に変えて畑の味方10a5袋を施用できる。
	マグゴールド	1袋		1							9	
	追肥グリーン	1袋					1	5.8	0.6			
	硫安	1袋		1				4.2				
	パワーリン3号	1袋	1						6.0		0.6	
	サンライム	2袋	2									
合計							20.0	9.6	1.5	14.6		
梅 [すもも ブルー]	フルーツパワー上伊那	2袋	2					4.0	1.2	0.6	2.0	※5月追肥グリーンは強樹勢園火山灰土壌では使用しない。 ※8月に鶏糞10袋を追加施用する。 ※幼木、強樹勢樹では8月の鶏糞は施用しない。
	パワーリン3号	1袋	1						6.0		0.6	
	マグゴールド	1袋		1							9	
	追肥グリーン	2袋			1		1	11.6	1.2			
	サンライム	2袋	2									
	合計							15.6	8.4	0.6	11.6	
桃	フルーツパワー上伊那	3袋	3					6.0	1.8	0.9	3.0	※弱樹勢園ではフルーツパワー上伊那を1袋増す。 ※砂壤土園は8月に鶏糞5袋を追加施用する。
	パワーリン3号	1袋					1		6.0		0.6	
	マグゴールド	1袋		1							9	
	サンライム	2袋	2									
	合計							6.0	7.8	0.9	12.6	
ぶどう	フルーツパワー上伊那	1袋	1					2.0	0.6	0.3	1.0	
	パワーリン3号	1袋					1		6.0		0.6	
	マグゴールド	1袋		1							9	
	サンライム	3袋	3									
	合計							2.0	6.6	0.3	10.6	
ベブリ ー	丸糞粒状固形特3	3袋		1		1	1	7.2	3.0	3.0		※有機質マルチは時期を問わず施用する。 ※土壌PHを4.0~4.5を目標にする。
	木材チップ等有機質マルチ	厚30~20mm										
	合計							7.2	3.0	3.0		
かりん メロ	フルーツパワー上伊那	4袋	4					8.0	2.4	1.2	4.0	
	鶏糞	15袋				15						
	合計							8.0	2.4	1.2	4.0	
栗	フルーツパワー上伊那	4袋	4					8.0	2.4	1.2	4.0	※酸性土壌を好む。
	パワーリン3号	1袋					1		6.0		0.6	
	追肥グリーン	1袋					1	5.8	0.6			
	合計							13.8	9.0	1.2	4.6	
柿	フルーツパワー上伊那	4袋	4					8.0	2.4	1.2	4.6	
	マグゴールド	1袋		1							9	
	サンライム	3袋	3									
	合計							8.0	2.4	1.2	13	

※ほう素欠乏防止に、ほう砂を2年に一度10a当り2kg全面施用する。

注 意 事 項

1. アミノメリット青 500 倍は、養分転換期の栄養補給、生育促進に効果があるので、生育初期に 2～3 回散布する。
2. ストピットⅡ（カルシウム剤）は果肉硬化、日持ち、ビターピット防止等品質向上に効果がある。ストピットⅡにかえてスイカルを散布しても良い。
3. りんごの着色促進及び葉摘の省力化を目的とした葉面散布は、DiNA プロリン 1 号を 1,000 倍で収穫前 1 ヶ月を目安に 10～15 日間隔で 2 回散布する。
4. りんごの薬剤摘花・摘果

(1)石灰硫黄合剤を使用した薬剤摘花について

- ①木の上部の側花が満開の時期から、腋芽満開時にかけて、2 回散布する。
- ②第 1 回目は残す位置の花が開花してから、気温が高ければ 2 日後。低ければ 3 日後からが目安。
(残そうとする中心果の雌ずいに変色したのを確認して散布⇒安全性高い)
腋芽花対象の時期は咲き方によっては毎日でも散布する。
- ③凍霜害を受けた場合は腋芽花を対象に後半での散布とする。
- ④雌ずい柱頭に薬剤を付着させ効果を出すので、花の上から薬剤がかかるように散布。
SS を使用する場合、ファンは回さないか、回転を落とすほうが良い。
- ⑤乾きにくい時間帯（サビ果発生）及び高温時（過剰摘花）の散布はしない。

資 材 名	濃 度	備 考
石 灰 硫 黄 合 剤	100～120倍	柱頭を焼き、花粉の定着阻止。ミツバチ返却後に使用。
エ コ ル ー キ ー	150倍	花粉の発芽阻止。ミツバチ導入期間中に使用。

(2)マイクロデナボン水和剤による摘果について

★使用濃度 1,200 倍 ★登録内容 摘果剤で 2 回以内。

果実、枝葉が十分に濡れる程度に 10a あたり 400～500 l を目安に散布する。

品 種	散 布 時 期 等	展着剤(摘果剤の場合)	目通り中心果横径
ふ じ	満開後2週間頃	ニーズ1,000倍又は アプローチBI333倍	8～9mm
シナノドルチェ シナノスイート シナノゴールド シナノリップ シナノホッペ			未定
ぐ ん ま 名 月	満開2～3週間頃	通常防除用展着剤	12～14mm
つ が る	満開後3週間頃		18mm以上
紅 玉			18～20mm
王 林			12～13mm
夏あかり、秋映	過剰落果となりやすいため使用しない。		

※秋映は試験で中心果・側果とも 70～80%が落果するほど落ちやすいので注意する。

5. 胴枯病・輪紋病・ふらん病・赤衣病など、枝樹病害が多いので薬剤散布は枝幹部まで充分散布する。発生園は被害部を削り取りトップジン M ペーストを塗布する。トップジンオイルペーストは病幹部とその周辺に広めに塗布する。赤衣病がある場合は、被害部を削り取り、バッチレートを塗布する。
6. 夜蛾対策に、防虫網又は、防蛾灯の設置を検討する。
鳥害対策は、被害が出る前に防鳥ネットの設置やその他対策をとる。
7. ボルドー液の調合法

ボルドー液の呼称	水100 l に対する薬量	
	硫酸銅	生石灰
4-12 式	400g	1,200g
4-8 式	400g	800g
4-4 式	400g	400g
3-9 式	300g	900g
2-12 式	200g	1,200g

ボルドー液と調合方法は以下の手順を原則とする（100 l 調合の例）

- ①生石灰に生石灰の薬 2～3 倍重量の水をまぜて消化させ、温度が下がるまで放置する。
 - ②消化した石灰に全水量の 1～2 割（10～20 l）の水を加え、石灰乳とする。
 - ③硫酸銅を全水量の残り量（80～90 l）に溶かす。
 - ④②の石灰乳に③の硫酸銅液を攪拌しながら徐々に加えて 100 l にする。
8. スピードスプレーヤーを用いる場合は、梨はりんご園より風量を遅くして死角なく散布することが重要である。薬剤のかかり具合を確認して走行速度を調整する。

農薬希釈早見表

希釈倍率	一定量の希釈液を作るのに必要な薬量(g又はml)				
	20ℓ	100ℓ	500ℓ	600ℓ	1,000ℓ
倍					
10	2,000	10,000	50,000	60,000	100,000
20	1,000	5,000	25,000	30,000	50,000
30	666	3,333	16,666	20,000	33,333
50	400	2,000	10,000	12,000	20,000
100	200	1,000	5,000	6,000	10,000
150	133	666	3,333	4,000	6,666
200	100	500	2,500	3,000	5,000
250	80	400	2,000	2,400	4,000
300	66	333	1,666	2,000	3,333
400	50	250	1,250	1,500	2,500
500	40	200	1,000	1,200	2,000
600	—	166	833	1,000	1,666
800	—	125	625	750	1,250
1,000	—	100	500	600	1,000
1,200	—	83	416	500	833
1,500	—	66	333	400	666
2,000	—	50	250	300	500
2,500	—	40	200	240	400
3,000	—	33	166	200	333
4,000	—	25	125	150	250
5,000	—	20	100	120	200
8,000	—	12.5	62	75	125
10,000	—	10	50	60	100

背負い動噴等に活用